

ひとりじゃないよ 哀しみに寄りそいともに生きる グリーフサポートせたがやの語り

講師： 加治 陽子さん

日時：2019年9月26日(木)

午後6時30分～

場所：渋谷区文化総合センター学習室1



加治陽子さんプロフィール

- ・「グリーフサポートせたがや」メンバー
- ・横浜市の在宅クリニックの遺族サポート担当グリーフ・カウンセラー。
- ・子どもの頃の兄の死、両親の死、特に父の在宅看取りの経験から、医療における「患者の家族は第二の患者」という言葉に興味を持ち、グリーフについて学び始める。
- ・2012年米国オレゴン州ダギーセンターへの研修参加を機に「グリーフサポートせたがや」の立ち上げに関わる。
- ・グリーフ・カウンセリング・センター 認定グリーフ・カウンセラー（認定番号029）
- ・日本グリーフケア協会 1級グリーフケアアドバイザー

主催



NPO法人

患者中心の医療を共に考え

共に実践する協議会



哀しみに寄りそい「ともに生きる」 グリーフサポートせたがや

世田谷区太子堂にある「サポコハウス」でグリーフサポートプログラムを行っています

【講演概要】

人は喪失を経験すると、否応なく、喪失以前とは違う人生を歩むこととなります。大切な人やものをなくしたときの反応(グリーフ)は、人それぞれ。

グリーフってどんな反応なんだろう、具体的なグリーフのお話や、グリーフサポートせたがやってどんな所で、どんな活動を行なっているのかについてお話します。

そして、皆さんが身近な人が何かを失った時、どんなサポートが出来るのかを一緒に話し合いたいと思います。

- ・グリーフについて
- ・グリーフサポートせたがやについて
- ・あなたが考えるグリーフサポートとは(グループワーク)



寄付のお願い

「グリーフサポートせたがや」の活動はすべてボランティアと助成金で行っています。活動に賛同いただける方からのご支援大歓迎です！

誰でも参加できます。参加費： 2000円 学生 1000円
 交流会でネットワーキング(任意参加) 3000円
 参加申込み先：info@jppac.or.jp 氏名 勤務先をご記入下さい

JPPaCは、「すべてのサービスは患者のために」を追求するNPOです。
会員募集中！